

千葉県南総文化ホール指定管理者管理運営状況評価

1 概要

(1) 施設名等

施設名	千葉県南総文化ホール
指定管理者	公益財団法人千葉県文化振興財団
指定管理期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで（5年間）
評価対象年度	令和3年度
第三者評価の有無（今回）	無
施設所管課	環境生活部スポーツ・文化局文化振興課

(2) 施設の設置目的等

設置目的	県南部地域における文化芸術振興の拠点として、地域における文化活動支援や鑑賞機会の拡充を図る。
指定管理者が行う業務の範囲	① 文化活動のための施設の提供 ② 集会のための会場の提供 ③ 県民の文化芸術の振興を図るための事業の企画及び実施 ④ その他文化会館の設置の目的を達成するための業務

(3) 施設の運営状況

年度	利用者(人) ※1	事業費等の内訳（千円）				(参考) 利用料金
		指定管理料 (A)	その他維持管理費(B)※2	使用料等県 収入(C)	県の収支 (C-A-B)	
令和3	32,712	155,970	65,643	39	△221,574	8,575
(参考) 令和2	18,824	140,422	42,270	52	△182,640	4,325

※1 カウント方法：施設全体（大ホール、小ホール、練習室、大会議室、小会議室）の利用者数

※2 維持補修費、委託料、工事請負費、備品購入費（指定管理料に含まれているものを除く）

2 評価結果

(1) 管理運営状況評価

評価項目		評価	評価理由等
管理業務の実施状況に関する事項	施設の設置目的・法令等の遵守等	A	千葉県立文化会館の設置及び管理に関する条例をはじめとする関係法令を遵守した管理運営を行った。個人情報とは適正に管理されていた。県への定期的な報告、日常の相談や連絡等も適切に行われた。
	安全性の確保	S	舞台・照明・音響設備については、事前の動作確認を行い、事故防止の徹底を図った。労働安全衛生法の改正を踏まえ、舞台上の高所作業における安全対策の強化を図った。総合防災訓練は、津波を想定し、避難誘導や消火活動などを内容に年2回実施し、来館者の安全確保に努めた。県及び館山市の帰宅困難者一時滞在施設に指定されたことから、職員全員が災害時に対応できるよう、体制の整備を行った。新型コロナウイルス感染症対策に

			については、主催者との打合せにおいて、感染防止対策の確認を行うとともに、公演のチケット販売において、キャッシュレス決済を導入するなど、感染防止対策の徹底に取り組んだ。
	適切な管理運営	A	警備、清掃等は催し物の状況に応じて適切に実施されており、主催者に対しては、イベント運営や舞台全般に対するきめ細かい助言を行った。職員がサービス介助士の資格を有し、来所者の問い合わせや要望に迅速に対応するなど、あらゆる人が利用しやすい環境整備に努めた。
	適切な財産管理	A	舞台・照明・音響設備については、職員による日常点検と専門業者による定期点検を計画的に行い、適切な維持管理を行った。施設内の不具合を発見した際は、県に速やかに報告するとともに、場合に応じて職員で対応するなど、適切に対処した。
事業の企画運営に関する事項	事業の実施 (必須事業)	S	文化芸術振興事業は、25事業を計画し、新型コロナウイルス感染症の影響により8事業が中止となり、感染防止対策を徹底した上で、17事業を実施した。空調工事等によりホールを使用できない期間が長く、アウトリーチ事業が中心になったが、公共施設、観光施設、幼稚園等と連携し、多様な事業を企画した。また、県立文化会館4館連携事業、公演のライブビューイングや動画配信など、県立文化会館4館の指定管理者となったことによる新たな事業展開を図り、感染症の影響下においても、県民が文化芸術に触れる機会の充実に取り組んだ。
	サービスの向上 自主事業 地域の連携等	A	誰もが利用しやすい環境を整備し、利用者からの要望に迅速に対応するなど、サービスの向上に努めた。また、県立文化会館4館の指定管理者となったことを活かし、4館の主催事業の情報が一元化されたイベントカレンダーの作成や文化情報誌の発行、公演チケットの4館取り扱いを行うなど、利便性向上を図った。近隣の公共施設や教育機関、観光施設等と連携したアウトリーチ事業、地域の文化団体によるギャラリー展示、市内小学校の社会科見学の受け入れ等を通じて、地域との連携を深め、地域の方に親しまれる施設の管理運営に取り組んだ。
施設利用状況に関する事項		A	利用人数、利用率、利用回数は、感染症影響前の平成30年度及び昨年度との比較において低下したが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う施設の利用制限等の影響に加え、空調工事等の影響によりホールを使用できない期間があったことによるものであり、やむをえないものと思われる。空調が使用できない期間においても、冷風機を設置するなど、指定管理者の工夫により会議室・練習室の利用を継続したことにより、利用料収入は事業計画を上回り、また、昨年度よりも回復が見られた。大ホール利用率は、16% (前年度17.5%) だった。
管理運営体制		A	施設を管理運営するために必要な組織、人員配置を整え、適切に運営した。危機管理対策や事業企画、アートマネジメントなど、様々な研修機会を設け、職員の能力向上に努めた。
収支状況		A	新型コロナウイルス感染症の影響と空調工事等の影響を考慮し、当初の計画では赤字を見込んでいたが、新たな助成金獲得や経費の縮減等に取り組んだ結果、黒字に転換した。

利用者意見の反映 利用者満足度	A	フロアーにアンケートボックスを設置し、利用者、来場者からの意見に対して、迅速に対応した。施設全体の満足度については、「満足」と「やや満足」で91.7%だった。
総合評価	良好	各項目の合計点数 22点/30点(73%) 各項目の評価点数の平均点 2.2点

(2) 特記事項

特に評価される点	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度から(公財)千葉県文化振興財団が指定管理者となったが、利用者が安全に安心して利用できる環境を整えるとともに、利用者の目線に立った質の高いサービスを提供した。また、周辺市町や関係団体との連携を構築し、県南部地域の県民に親しまれ、地域に根差した施設の管理運営に取り組んだ。 ・新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、感染防止対策を徹底した上で事業を継続し、地域の文化芸術活動が停滞することがないように取り組んだ。 ・空調工事等の影響により、ホールを使用した主催事業が実施できない期間が長かったが、近隣の公共施設、観光施設、幼稚園等と連携し、アウトリーチ事業を実施することにより、県南部地域の県民に文化芸術に触れ、親しむ機会を提供し、地域の文化芸術振興に取り組んだ。 ・県立文化会館4館の指定管理者となったことを活かし、4館統一デザインによるホームページの改修、4館の主催事業の情報を一元化したイベントカレンダーの作成や文化情報誌の発行、公演チケットの4館取り扱いなど、一層の利便性向上を図った。文化芸術振興事業においても、4館連携事業を企画するなど、4館連携による新たな事業展開を図った。
次年度に向けて改善が望まれる点	特になし。
前年度評価で改善が望まれると指摘された点とその改善状況	指定管理者変更に伴い、前年度評価において、改善が望まれると指摘された点は特になし。

(3) 第三者評価におけるその他の意見

第三者評価は実施していない。